

1700 | 情報教育法Ⅰ

2 単位（通信授業 2 単位）

大坪圭輔教授、栗田るみ子講師、小林道夫講師

授業の概要と目標

教科「情報」は平成 12 年度からスタートした。この教科は道具としての情報通信メディアが持つ、科学的、技術的、社会的、文化的、そして人間的な内容をトータルに学んでいくものである。「情報教育法Ⅰ」では、技術の進歩の変遷や社会環境の変化などを具体的に取り上げ、文部科学省指導要領解説などを用いて進める。特に初歩的なりテラシーの教授法と生徒の応用力を高める部分についてはインターネットを活用した情報収集や情報の加工について実体験的に考えられるようにする。

課題の概要

○通信授業課題 1

コンピュータを使ってなにができるか。

マルチメディア情報の受信と発信について学ぶ。

情報化社会の変遷に伴い様々なコミュニケーションの方法が誕生しているが、中でも Web サイトは、文字、静止画、動画、音声など、多様な形態の情報を統合してインタラクティブに扱うことができ、現代の最も利用されている情報収集・発信のツールとなっている。

○通信授業課題 2

情報化が社会に及ぼす影響と課題について考える。

現在ユビキタスコンピューティングの時代といわれ、私たちの生活の中の何処にでもコンピュータが存在しているが、1950 年頃からのコンピュータの歴史を調べ、私たちの生活がどのように変化してきたか調べる。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

指定されている教材等を読み、高等学校「情報」の概要とそこに求められている課題を理解すること。『高等学校学習指導要領解説 情報編』2010 年版「社会と情報」「情報の科学」についてそれぞれの指導内容を理解する。

- 1 情報とは何か
- 2 情報機器のしくみと歴史
- 3 情報通信ネットワークの仕組みと理解
- 4 情報化社会に及ぼす影響

『キーワードで理解する最新情報リテラシー』

IT 分野のキーワードを理解し、教材として利用する場合の指導方法等を考える。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程（高校 1 種 [情報]）に登録していること。

[備 考] 「情報教育法Ⅰ」を 2 年次に履修し、「情報教育法Ⅱ」を 3 年次に履修するのが望ましい。
3 年次編入学生は、ともに 3 年次に履修すること。

教材等

教科書：文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』（開隆堂出版 2010 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）